

# 川崎の老人ホーム3人転落死 市、認識の甘さを陳謝

川崎市幸区の介護付き有料老人ホーム「Sアミーユ川崎幸町」で入居者3人が転落死した問題で、川崎市

を追及する声が相次ぎ、市は認識の甘さを陳謝して再発防止策を検討していく考えを示した。

委員会では、矢沢孝雄市議（自民）から転落死の事件性について問われ、市高齢者事業推進課の関川真一課長は「現段階では事故という事になっていない。仮に事件で、（施設の）指導だけですまない部分があれば、介護保険法に照らして行政処分もありうる」と答え、気付けなかったことに対し「甘さがあった。大変申し訳ない」と述べた。

な情報を早く入手するため、警察との連携や別の仕組みも含めて検討するべきだ」と指摘した。

健康福祉局の成田哲夫局長は「事故がこれだけ頻繁に起きたことに対してしっかりと把握し、（施設に対しては）報告書を求め、どう対処するかをしっかりと

やっていく。他の施設に対しても（同様のことが）ないように周知していきたい」と強調した。

また、市による「Sアミーユ川崎幸町」への立ち入り調査の時期について、関川課長は「来週何とかできればと思っている」と答えるにとどまった。

## 市会委市に再発防止要請

3人転落死  
老人ホーム

川崎市幸区の有料老人ホーム「Sアミーユ川崎幸町」で、入所者の男女3人（80〜90歳代）が転落死していた問題を受け、市議会は11日、臨時の健康福祉委員会を開き、市に対して、介護施設で事故や事件が発生した場合の対応の見直し

や、再発防止に取り組よう要請した。市は来週にも、同ホームに立ち入って転落死の詳細を調べ、運営指導を行う考えを示した。

臨時委員会では、市側同ホームで発覚した転死や入所者虐待などの

川崎市幸区の介護付き有料老人ホーム「Sアミーユ川崎幸町」で入居者3人が転落死した問題で、川崎市

議会は11日、健康福祉委員会を開いて市側から事故の経緯などについて説明を受けた。委員からは市の対応

も「介護は知識がないとできない。市でも（施設職員）研修体制の見直しなどを指導してほしい」、織田勝久市議（民主）は「正確

臨時委員会では、市側同ホームで発覚した転死や入所者虐待などの